

平成31年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	お手軽タクシー運行事業
事業主体 (連絡先)	東春近地区協議会 伊那市東春近1826番地
事業区分	⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	641,936円 (うち支援金: 513,000円)

事業内容

当該地域では「富県・東春近地区循環バス」が運行しているが、自家用車に比べ利便性に劣る等の理由から、長期にわたって利用者の減少が続いている。

そのような中、東春近地区では、区長、市議会議員、地域公共的団体の長等で組織する「東春近地区協議会」が、富県地区では地域住民を主体とする「路線バスを守り育てる会」が、地域にとって必要な公共交通のあり方を検討する中で、現行の地区循環バス以外の交通手段であるお手軽乗合タクシーを住民が実際に体験し、その利便性や課題を確認した上で最適な公共交通を選択していくこととなった。

・東春近、富県の各地区で住民の利便性が高いと考えられるお手軽乗合タクシーの乗降ポイントをきめ細かく選定し路線図・時刻表を作成

・平成30年11月6日から翌年2月7日までの間で、東春近地区、富県地区それぞれ毎週火、木曜日に1日3便、各地区78便、合計156便の時刻表で運行

・利用者アンケート等を実施し次年度以降の地域公共交通のあり方を検討



(タクシー利用の様子)

【目標・ねらい】

- ①交通弱者の外出機会の確保
- ②今後の地域公共交通の方向性を探る

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・伊那市が実施主体である他地区のデマンドタクシーと同程度の利用者があり、乗合いも実施できた。
- ・アンケートで、良かったが、良くなかったを大幅に上回り、利用者に喜ばれ、満足度は高かった。
- ・今後の地域公共交通の方向性を考える参考となった。

事業効果

・全戸に回覧で周知を図り、登録者は136人。
予定便156便のうち、予約があった90便を運行し、利用者141人、1便当たり1.57人となった。
2人以上が乗り合わせた便も38便あり、一定程度の乗合体験もできた。

・登録者へのアンケート(別添)は、回収率76%と高く関心の高さがうかがわれた。利用目的は通院と買い物がほとんどで、感想は良かった(32人)が良くなかった(1人)を大幅に上回った。
また、今後の外出手段では、循環バス15%に対し乗合タクシー56%となり、地域公共交通の方向性を考える上で参考となった。

今後の取り組み

3か月間だけの運行で、地域公共交通にふさわしいのは循環バスか乗合タクシーかに決めるのは無理がある。

運行日、便数の増、運行期間の増などの要望があるので、予算を勘案する中で、停留所の見直しも含めさらに利便性を高め、夏から秋にかけて再度運行を実施し、地域に適した地域公共交通のあり方を方向付けていきたい。